

平成21年6月30日

徳島大学附属図書館所蔵喜田貞吉関係資料に関する所見

徳島県立博物館専門学芸員 長谷川賢二

徳島県立博物館では、平成18～21年度の間、徳島大学附属図書館所蔵喜田貞吉関係資料を借用し、概要調査を行ってきた。この間、平成20年4～5月には、当館の企画展「郷土の発見」において、一部を展示・紹介した。

以下に所見を記し、調査報告に代える。今後の保存及び公開・活用に資するところがあれば幸いである。

1 資料群の内容

喜田貞吉の著作原稿、講演録原稿、ノート、筆写史料が主体である。そのほか、喜田が運営に携わった日本歴史地理研究会・日本歴史地理学会の経理事務等に関するもの、書簡類も含まれている。書簡には、史学史上有名で、喜田が当事者となった南北朝正闰論争の際に寄せられたものが多数ある。詳細については、別添の仮目録を参照されたい。

喜田貞吉の人物像を知る上で有用であることはもちろん、近代日本の史学史・地理学史に関する資料としても貴重である。今後、各方面からの研究が期待される。

2 資料の状態と保存・活用に関する課題

酸化による紙の劣化が進行しており、保存状況は思わしくない。触れるだけでボロボロと破損するものが多い。また、金属ゼムクリップで綴じられたものは、サビによる劣化も見られた。今回の調査においては、クリップについては可能な限り取り外した。

こうしたことから、今後の保存への十分な配慮が必要である。温湿度管理や生物被害への対策はもちろん、脱酸化などの処置が望まれる。また、公開を念頭におくと、デジタル化などによる代替物の作成も考慮すべきと思われる。

喜田貞吉関係資料目録 (仮)

- 1 項目の都合から、原稿等の部、書簡等の部に分けて作成した。
- 2 内容・形状等から、資料を次の6群に分類した。
 - A…270件。原稿、筆写史料等、主として喜田の自筆資料。校正刷り等も便宜的に含めた。封筒等に一括された原稿類については1件として扱った。
 - B…34件。講演録
 - C…75件。ノート。講義ノートが主だが、ノートを使用した筆写史料やメモ等も一括した。
 - D…24件。日本歴史地理研究会・日本歴史地理学会及び東北文化研究会の運営関係資料。
 - E…100件。第3者の原稿、スクラップ、収集史料等。喜田による書き入れがあっても、喜田の著作でないものは、ここに含めた。
 - F…327件(383通)。書簡等。南北朝正閏論争時の書簡等は一括して記載している。
- 3 この目録は、資料群の全容を確認する程度の用途を想定した仮のものである。また、標題や人名については、誤読があると思われる。
- 4 目録における「予備整理番号」は作業途上の便宜のために付したもので、特段の意味はない。当面、資料検索に用いることができるよう記載した。